

Soundscape Okinawa 2021

ライブイベント 2021年10月03日
展覧会 2021年10月02日～10日
前夜祭 2021年11月19日
メインイベント 2021年11月20日、21日
会場: 糸数城跡 沖縄県南城市玉城糸数

主催: Art Initiative Okinawa実行委員会



2021年度「おきぎんふるさと振興基金助成事業」(教育部門及び文化部門)
事業報告書

AIOプラットフォーム作り「Soundscape Okinawa 2021」

Art Initiative Okinawa実行委員会
会長 スプリー テイトウス
事務局長 内間 直子

■本事業の経緯

Art Initiative Okinawa(AIO)は2020年から、県内にアートセンター設立を目指し、ネットワーク作り、ダイアログ作り、プラットフォーム作りの3つの柱を軸に事業を展開している。その一環として、本件のプラットフォーム作り「Soundscape Okinawa 2021」では、企画、運営、実践を通して人材育成や地域との交流を図る野外アートイベントを企画した。南城市糸数城跡を舞台として、第二回目となった本イベントでは、ジャンルを超えた音楽家や美術家総勢17組が集い、サイトスペシフィックアート(ある一定の場所に特化した表現)として、野外で音を奏で、造形物によるインスタレーションという新たな試みも加わり、それらが城壁や緑溢れる自然や風景と調和する独特な世界観を作り上げることに成功した。



■実施事業の内容

Soundscape(サウンドスケープ)とは、カナダの作曲家マリー・シェーファーによって1960年代終わりに提唱された概念で「音の風景」という意味である。ある特定の場所でアーティストがその土地にインスパイアされた音を奏で、その音を風景の観念でとらえ、調和させる試みがSoundscape Okinawaのコンセプトである。

舞台となった糸数城跡周辺の歴史や地域文化をフィールドワークで学び、場所や人、関係者らと対話を繰り返し、構想を練り、作り上げていく巨大な野外インスタレーション。これまでに類をみない試みで、例えるなら音の野外美術館。一年目の「耳を澄まし、自然に溶け込む」というサブタイトルから、二年目では「目を凝らし」が追加された。皆既月食の夜に行われた前夜祭が加わり、自然の中で生まれた音に耳を傾け、月明かりの中で目を凝らし、参加者が自由に歩き回り、それぞれの「音の風景」を構築し、再編成する。

琉球石灰岩を積み上げた城壁や天に向かってそびえ立つアザナの景観が美しい糸数城跡は、沖縄本島南部に位置する最大級の城(グスク)でありながら、その存在はあまり知られておらず、手付かずの自然と城壁の織りなす雄大な景色を堪能することができた。城という先人たちが、生み出した造形物が、今もなお自然の中に溶け込む独特な景色を見ながら、コロナ禍で閉じ込められた感覚を解放し、聴こえてくる音に悠久の沖縄時間を感じることができる。初めて糸数城跡を訪れた方や地元出身で現在は市外に住んでいる方たちが、家族で参加するなど、新たな視点で地元を見直すきっかけにもなった。

本イベント開催にあたっては、制作過程を重視しており、中間発表を行うプレイベントとして、展覧会と演奏会が糸満市のキャンプタルガニーで行われた。その他、前夜祭、メインイベントの詳細は以下のとおり。

サウンドスケープ セイサクチュウ

ライブイベント 2021年10月03日
展覧会 2021年10月02日～10日

会場: キャンプ・タルガニー・アーティスティック・ファーム 沖縄県糸満氏米須



▼プレイベント／Soundscape Okinawa 2021 @ キャンプタルガニー

糸満市にある小さな現代美術館キャンプタルガニーにて、屋内外のスペースを使い、11月に開催予定の「Soundscape Okinawa 2021」に向けた構想やプロジェクトリサーチ、制作過程を展示・発表。ビジュアル&サウンドアーティスト8組によるメインイベントへ向けての制作過程を鑑賞・体感できるイベントを開催。

○Work in Progress「セイサクチュウ」展覧会

参加アーティスト | 津波博美 / 上地gacha一也 / 花城勉 / 児玉美咲

開催日時 | 2021年10月2日～10日 (10月2日～3日は公開制作) 11:00～18:00

○Camp Talganie ミニ Soundscape ライブ

参加アーティスト | 加納由美 / 犬塚拓一郎 / 澤井每里子 / 古謝麻耶子

開催日時 | 2021年10月03日 (日) 16:00～日没

場所 | 世界一小さな美術館 キャンプタルガニー (沖縄県糸満市米須304番地)

来場者総数 | 約200名





Soundscape Okinawa 2021 前夜祭

2021年11月19日

会場: 糸数城跡 沖縄県南城市玉城糸数



▼前夜祭 / Soundscape Okinawa 2021 @ 糸数城跡

開催日時 | 2021年11月19日(金) 17:00~21:00 開場16:00 最終入場20:00

参加アーティスト | Harikuyamaku (DJ) / 稲嶺幸乃 (唄者) / C.H.B (シンセサイザー) / 石原岳 (エレキギター) / 澤井每里子 (琉球横笛) / 島山信和 (ギター) / 上地gacha一也 (インスタレーション) / 津波博美 (インスタレーション) / 花城勉 (インスタレーション) / 児玉美咲 (インスタレーション)

内容 | 城内数カ所にて、DJによる選曲、即興やコラボレーションによるサウンドインスタレーション、アンビエント (環境音楽) など、沈みゆく夕陽を眺め、満月の月灯りの下、目を凝らして、聴こえてくる音に浸り、自然と対話する。

来場者数 | 約120名





Soundscape Okinawa 2021

2021年11月20日(土)、21日(日)

会場: 糸数城跡 沖縄県南城市玉城糸数



▼メインイベント / Soundscape Okinawa 2021 @ 糸数城跡

日時 | 2021年11月20日(土)、21日(日) 13:00~17:00(開場12:00)

参加アーティスト | Harikuyamaku (DJ) / 稲嶺幸乃 (唄者) / C.H.B (シンセサイザー) / 石原岳 (エレキギター) / 古謝麻耶子 (アフリカ楽器) / 大城明子 (オーボエ) / 加納由美 (クリスタルボウル) / 犬塚拓一郎 (トイピアノ) / ロビン・トンブソン (笙、コントラファゴット) / 泉川なな (クラリネット) / 上地gacha一也 (インスタレーション) / 津波博美 (インスタレーション) / 花城勉 (インスタレーション) / 児玉美咲 (インスタレーション) / 釜村僚一 (作曲)

内容 | ピクニックのように、緑が豊かな城内を観客が自由に動き回り、聞こえてくる音と目の前に広がる風景をそれぞれが選択しながら、自らの心地良い居場所を見つけるなど、空間やサウンド、自然に溶け込むビジュアルアートを楽しむ観客主導のイベント。

来場者数 | 約400名 スタッフ及びボランティア総数 | 約60名

アートディレクター | スプリーティトゥス

アーツマネージャー | 内間直子

制作及び事務局 | 中村慎太郎 / 比嘉千穂 / 澁谷夏恵 / 松本莉央 / 大城可奈子 / 安里恵美 /

感染対策アドバイザー | 久島昌弘 会場設営 | 宮平未来 / 久高友嗣 / 伊佐直哉

映像 | 下地聡一郎 / 城田優輔 / 城間心 / 玉城里奈 写真 | 大湾朝太郎 音響 | 丸山誠

協力 | 糸数公民館 / 南城市教育委員会文化課 / CAMP-O協同組合 / HIGEFILMS (Banana concept inc.) / TORIDORI FACTORY / なんじょう市民活動支援センター / 狩集敦子

助成 | おきぎんふるさと振興基金 / 文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

後援 | 南城市 / 琉球新報社 / 沖縄タイムス社 / 琉球放送 / 琉球朝日放送 / NHK沖縄放送局 エフエム沖縄 / ラジオ沖縄

主催 | AIO (Art Initiative Okinawa実行委員会)

総評 | 事務局や運営、制作メンバーは10代~60代で構成され、それぞれの視点やバックグラウンド、経験を生かして、プロジェクトの企画や運営に携わっている。今回、規模を拡大しての開催でスタッフの拡充や入れ替えが必要ではあったが、二年連続の開催とあり、口コミやリピーターが増え、地元や地元を離れた人たちの関心が高まり新規の観客獲得に成功した。ボランティアスタッフの育成や運営面の強化など課題はあるものの、継続してボランティアで参加する者もあり、県内大学間の学生による交流を生むなど、継続した活動の成果を実感できた。多様な社会に対応するべく、障がい者児童施設の団体を受け入れることもおこなった。また、南城市の端慶寛長敏市長と大阪・神戸ドイツ総領事館のマルティン・エパーツ総領事、南城市教育委員会教育長が訪れ、地元や県外からの教育、文化などの幅広い層に関心を集めることにも成功した。



系数集落

系数は琉球石灰岩台地上に位置し、南面が最も標高の高い場所に位置する集落である。集落の周囲は一旦所の水量の豊富な水溜りがある。かつて大干ばつが起きたときには周囲の川から水を求め人が死んだ。系数は現在も水と水の運搬も分けておられ続けている。昔は二つの集落があった、10名二人はともだち。

系数アスチラガマ

(高崎市 高野観光総合センター) 沖縄戦時、もともと系数集落の避難指定地であったが、日本の戦地受け入れ施設として使用され、戦後が過ぎ去った後、高野観光総合センターの別荘となった。

モリテイル御イペ御嶽

「モリテイル」の神が居る聖地な場所。琉球では昔々自然を神格化し、祈りの対象としていた。系数集落には二つの御嶽が存在し、当時の御嶽の広場は大きな石の御嶽に神聖な場所であるため、御嶽周囲に足を踏み入れることはご遠慮いただいている。

系数城跡

慶長開港以来見渡せる高台に、中世までの大きな城壁が残り、沖縄本島南部最大級のアフリカ産の系数城跡は、本城跡の西の守護として築かれた。琉球石灰岩を積み上げた城壁、天に高くそびえ立ち立つ系数アフリカ産の系数は、琉球の歴史を語るような迫力がある。

Soundscape Okinawa 2021 会場マップ

根石(ニー・ルグスク) 系数は琉球石灰岩台地の一部で、一時は「根石」の別荘であった。

- 受付
- 休憩所/インフォメーション
- 案内/プロセーション
- 歩く道

アート作品

上地 gacha一也
音と風
自分が自然と共有したい気持を、音と風を通じて表現したい。音と風を、音と風を、音と風を表現したい。

児玉 葉咲
音と風
音が自然と共有したい気持を、音と風を通じて表現したい。音と風を、音と風を、音と風を表現したい。

花城 勉
VALIE 2021
音と風を、音と風を、音と風を表現したい。音と風を、音と風を、音と風を表現したい。

津波 博幸
音と風
音が自然と共有したい気持を、音と風を通じて表現したい。音と風を、音と風を、音と風を表現したい。

2021年11月20日/21日





■今後の展望 |

Soundscapeという概念を活かした地域との関わりは今後も継続していく予定で、事務局メンバーがなんじょう市民大学に参加するなどして、市民との交流や対話を行い、地域に根差した活動を続けている。また2022年度は、AIO教育研究プロジェクトとして、これまでのような大規模なイベントは開催しないものの、地域の小中学校からヒアリングを行い、連携したワークショップやフィールドワークを実施するなど、より地域に根差した密接な活動を継続している。そのような地道な活動の先には、自然を生かした文化や教育、観光プログラムの開発など、地域振興のあり方をこのような実践を通して県民と共に考えていきたい。



■謝辞 |

この度は多数の応募者のなかから、貴社の振興基金に採択いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍での団体の設立、活動開始とあって初年度から苦難の連続で、二年目の活動継続にあたっては、本件の採択は非常に重要なものであったため、開催に漕ぎ着けることができ、大変感謝しております。また、琉球朝日放送の番組「17のたね」で取り上げていただくなど、私たちだけの力では及ばない領域へ活動を知ってもらうことができました。芸術文化及び教育の発展は、沖縄の観光や産業の基盤を作る礎になると信じております。今後も、地道な活動を長く続けていく所存です。改めてお礼を申し上げます。

